八碁連だより

２月号　　第３１８号

発行日　　平成３０年２月１日（木）
発行所　　八王子囲碁連盟
住　所　　八王子市横川町４２－８９
電　話　　０４２－６２３－０２５２
発行者　　小田　辰郎
編集者　　中谷　勝信

富士山の写真撮影の名所・山梨県忍野八海近くの忍草にて
（１月撮影のため垂れ下がった桜の枝には花はなし）

http://yas　u1120.la.coocan.jp/hatigoren.html

八王子囲碁連盟の目的

八碁連は、八王子市内に居住する囲碁愛好者が、囲碁を通じて親睦を図り、かつ、健康を維持できるよう機会を提供し、福祉の増進に寄与するとともに、棋力の向上を図ることを目的とする。

いつまでも囲碁を楽しみたい

北野囲碁同好会　会長　山縣　文雄

１５年程前、前立腺がんになり自分の人生もこれで終わりかなとお先真っ暗になりました。その時同好会の副会長を引き受けたばかりでしたが早速、仕事をへらしてもらい名ばかりの副会長になりました。幸い手術がうまくいって治癒はしましたが体力は低下し一年中風邪をひいている状態で、今年は年を越せるかなと思う事が何年か続きました。その頃は囲碁を続けたい一心で健康回復に励み食生活、睡眠、運動に気を配りました。いつの頃からか風邪もひかなくなり、食事もおいしく健康な体にもどってきました。けれど高血圧、痛風など沢山の薬が欠かせず、頻尿で夜もよく眠れない日が続きます。お酒もほとんど飲めなくなりました。それでも囲碁のためならどんな苦労もつらくない。これも一つの生き方かなと思っています。

私の碁は全くの自己流で若いときに本格的に鍛えたとゆうことはありません。職場の仲間と楽しみ、たまに碁会所に通い、囲碁大会にもいくつか顔を出し、そこでプロに打ってもらうくらいでした。布石、定石、手筋などの本も沢山買い込み一生懸命読んだ時期もあります。

年を取ると共に体力も落ち、遠くの大会に出られなくなり、本を読むことも少なくなりました。最近はビデオを繰り返し見ることが中心になってきました。これはと思うのは何十回も見ます。近くに碁会所もあまりなくなって、同好会の仲間と打つことが主となりました。家の近くの自治会館にも会場を借り、知り合いと打っています。最近は八碁連の高段者の勉強会もできてそこへも顔を出させてもらっています。インターネットによる通信対局も楽しんでいます。活きいき大会に行くと強い人と打てるのがうれしい。下位者に幾つもの置き石を置いてもらって打つのも、どうやって打ち込んでいったら良いか考えるのが楽しい。碁の魅力は尽きません。

第２８回　八碁連囲碁大会（二段以下）の結果

八碁連囲碁大会二段以下の部が会場改修工事のため、昨年より遅れて１２月２４日（日）に行われました。対戦に先立ち今年８０歳になられた９名の高齢者表彰が行われました。

尚、同時に日本棋院の熊ホウ六段による指導碁も行われ、大変活気あふれる一日でした。

大会の結果　　参加者（６９名）

D組　（初段～二段）　２５名

優勝　福本　秀司　二段→三段/長房　準優勝　岩本　武　二段/中野　　第三位　池谷　明夫 二段/中野

E組　（３級～初段）　２０名

優勝　清水　純一　２級→１級/長房　準優勝　小澤　敦司　初段/恩方　第三位　藤牧　健二　１級/長房

F組　（４級以下）　２４名

優勝　麻生　守弘　３級→２級/元八　準優勝　藤森　功　５級/恩方　第三位　福永　啓一　４級/長房

競技開始に先立ち大会会長挨拶

競技中の大会参加者

囲碁案内人コーナー

「学校囲碁指導員」の資格取得について

囲碁案内人連絡会　幹事　佐藤義廣
Email:sayosi@nifty.com　☎（644）2120

八王子囲碁連盟青少年囲碁案内人連絡会の登録者は４３名です。そのうち日本棋院の資格を有している者は８名のみです。資格のうち安価で短時間で取得できるのが「学校囲碁指導員」（東京で１３０人）です。本年度の講習会は３月３１日と決まっています。「顔写真」「申請書」「誓約書」「推薦状」「2160 円（初回のみ）」が必要なだけです。「推薦状」は小田会長が署名してくれるそうですので、是非、資格取得のうえでの指導をよろしくお願いいたします。

私事で恐縮ですが、この度が更新ですので私とご一緒しませんでしょうか？
細かな手続き面はパソコン（ＰＣ）で見られます。

日本棋院ＨＰ＞囲碁学習・普及活動＞普及事業＞学校囲碁指導員の順で検索し参考にして事前準備をして下さい。ＰＣでない方は私にご連絡いただければ善処したいと思います。
また、「囲碁案内人連絡会」未登録の方で興味のある方も、どうぞよろしくお願いいたします。

「日本囲碁規約」の勉強会を開催しました

八碁連理事（競技担当）　竹添 文彦

１、はじめに

昨年の１２月、２日と９日の午前中に各2.5時間ずつ、八碁連で「日本囲碁規約」の勉強会を開催しました。活発な質疑応答並びに議論があり、盛会でした。中で、最も盛り上がったのは“隅の曲がり四目”に関する死活例のところでした。

この勉強会のきっかけは、小生が競技担当理事となったことに端を発します。それまでは規約があることは知っていましたが、それを知らなくても囲碁を打つことに何らの痛痒も感じていませんでした。しかし、大会でトラブルの裁定をする立場になるとそうはいきません。

高段の方を先生として、「日本囲碁規約」勉強会の開催計画をたてました。先生をどなたにお願いするかが課題となりました。八碁連の理事会で縷々話をする中で、お前がやれとゆうことになってしまいました。

各支部同好会におかれても、お渡しした資料を基に勉強会を開催し、囲碁レベルの向上に繋げて頂くことを切望しています。

２、「日本囲碁規約」のポイント

１）“対局の停止”というフエーズがあります。

規約は囲碁の対局が図１に示すフエーズで行われることを想定しています。この図で特徴的なことは、“対局の停止”（一方が打つ着点がないのでパスをし、それに対応して相手もパスをすることで成立）フエーズがあることです。“対局の停止”後、石の死活及び双方の地確認を行います。

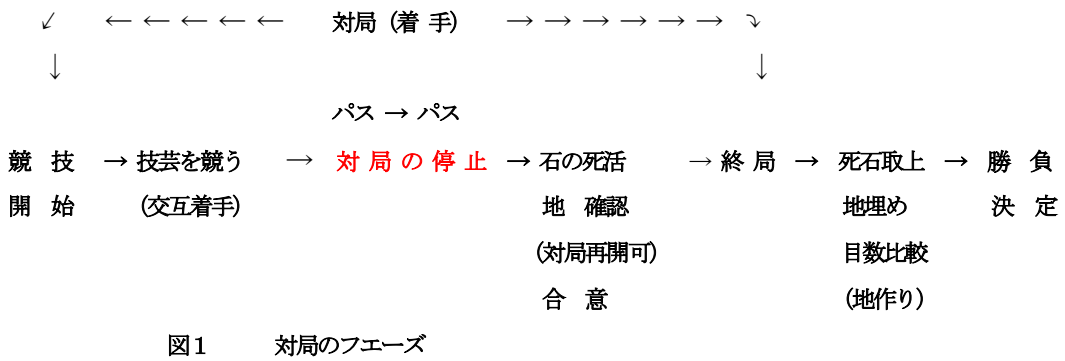


図１　対局のフエーズ

２）“隅の曲がり四目”などに関わる重要な条項があります

規約の第７条２項がそれです。それは、「“対局の停止”後での、死活確認の際における同一の劫での返しはできない。但し、劫を取られた方が取り返す劫のそれぞれにつき着手放棄（パス）を行った後はたにその劫を取り返すことができる」としています。この条項により“隅の曲がり四目”が死となるのです。

３、八碁連大会での対応

１）打つ着点が無くなったらパスと言って下さい

石の死活及び地の確認のためには、「対局の停止までに駄目詰め及び手入れを行わなければならない」と規約解説にありますが、手入れが終わっていればパスと言ってOKです。

２）八碁連ルールを見直しました

無勝負（両負け）と時間キレ負けを追加しました。

３）疑義、問題点が発生したら、直ちに競技委員長（或いは審判長）を呼んで下さい。

このことはこれまでと同一です。

４、おわりに

規約解説の中にある死活例（問題）を二つ示します。問題１と問題２において、A点に手入れが必要か否かを考えて下さい。答えとその手順は各支部の例会の折に、勉強会参加者にお尋ね下さい。

●	○	A	●	○	・	・
・	●	●	●	○	＋	＋
●	●	○	○	○	＋	＋
○	○	○	＋	＋	＋	＋
・	＋	＋	＋	＋	＋	＋

（問題１）

●	○	A	・	●	○	・	・
・	●	●	●	●	○	＋	＋
●	●	○	○	○	○	＋	＋
○	○	○	＋	＋	＋	＋	＋
・	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋

（問題２）

図２　　問題１ と 問題２

＜ 勉強会参加者 （敬称略）＞

浅川（三島七段）、恩方（竹内六段）、元八王子（庄司五段）、中野（森本四段）、大和田（鈴木六段）
石川（木河三段）、台町（白石二段）、南大沢（武中二段）、　北野（佐藤六段）、長房（小嶋七段）
川口（高取六段）、　八碁連（小田六段、吉澤八段、竹添六段

二大ニュース

八碁連　広報部

其のⅠ　井山七冠が「世界戦」決勝に進出

昨年１１月１５日井山裕太七冠が国際棋戦の、ＬＧ杯朝鮮日報棋王戦の準決勝で世界最強とされる中国の柯潔九段に勝利し決勝三番勝負（２月５日、７日、８日に行われる）に進出した。

其のⅡ　井山七冠「国民栄誉賞」受賞

２００２年にプロデビューした井山七冠は、０９年に史上最年少で名人になり１６年には史上初の七冠に輝きました。一度名人を奪われますが昨年１０月に取り戻し二度目の七冠制覇を成し遂げた。

将棋で「永世七冠」を達成した羽生善治七冠と共に「国民栄誉賞」を受賞することになりました。

尚、二人の表彰式は２月１３日に首相官邸で行われます。

◎平成２９年度タイトル獲得者（上段：前期、下段：後期）

同好会	名　人		王　座		天　狗	
	優勝	準優勝	優勝	準優勝	優勝	準優勝
浅川	真田誠次八段 吉田旭　七段	岩田大平六段 筒井政範初段	吉田旭　七段 梶原和夫五段	三島敏明七段 三友勇　二段	小西弥一二段 岩田大平六段	三島敏明七段 横内廣隆五段
恩方	尾崎健二１級 五十棲健一五段	徳満英世六段 斑目茂男四段	中邑豊七段 小澤敦司初段	栗城幸吉２級 野沢市郎五段	小久保捷朗二段 長谷川幸二四段	伊藤国男四段 五味光弘五段
元八	竹添文彦六段 小山忠孝五段	小山忠孝五段 平山統　五段	久保田勇　二段 深水靖雄四段	金尾誠一三段 森本通俊三段	粂川次夫２級 麻生守弘２級	麻生守弘３級 坂口勝　７級
中野	磯部信宏六段 宮崎誠一五段	樋口寿一六段 井上栄次郎七段	宮崎誠一五段 岩本武　二段	森本康男四段 磯部信宏六段	望月毅士五段 樋口寿一六段	岩本武　二段 池谷明夫二段
大和田	柳豊太郎七段 森田良則初段	森田良則初段 成田滋　三段	高橋俊夫二段 鈴木浩治六段	折谷範子二段 成田滋　三段	青山挌　七段 池田正三六段	池田正三六段 矢島良宏四段
石川	平松隆治五段 坂本勝雄八段	坂本勝雄八段 金本好正七段	坂本勝雄八段 水野義嗣六段	二宮学　五段 遠藤博　三段	金本好正七段 石川幌二五段	木河専　三段 田村強　四段
台町	斉藤重夫六段 斉藤重夫六段	小林實　五段 小林實　五段	高木衛　八段 高木衛　八段	丸山郷　三段 斉藤重夫六段	斉藤重夫六段 渋谷昭男五段	新野哲雄六段 小林實　五段
北野	山縣文雄六段 山縣文雄七段	佐々木胖充四段 佐々木胖充四段	石坂慶通六段 佐々木胖充四段	吹上吉輝四段 藤崎稔　六段	平田弘一三段 石坂慶通六段	古賀照也六段 櫛島正一二段
長房	秋山一雄初段 福本秀司三段	小嶋英基七段 芦沢靖彦三段	小嶋英基七段 澤田信夫四段	澤田信夫四段 秋山一雄初段	小嶋英基七段 安西実　五段	赤松栄一郎二段 龍野紀満六段
川口	鳥居範治５級 奥秋重雄四段	渡辺惠介三段 廣島松治五段	石井忠興六段 渡辺浩良２級	山本良宣四段 松崎邦夫六段	高取民治六段 中谷勝信四段	豊野収　三段 渡辺惠介三段
南大沢	向井克彦五段 矢島幾朗七段	高堂和幸初段 信江峻　七段	信江峻　七段 向井克彦五段	和田和彦三段 福田博利三段	向井克彦五段 福田博利三段	高堂和幸初段 向井克彦五段

第６回 指導碁の報告

常任幹事　南 正一郎

去る１２月２４日、八碁連大会に併せて、日本棋院の熊ホウ（ゆうほう）六段による指導碁を開催しました。局後のワンポイントレッスンが大変良かったと好評でした。

以下の方が参加されました。ありがとうございました。

第１ラウンド

松本 健彦　六段（石川）・信江 峻　七段（南大沢）・鈴木 浩治　六段（大和田）・根本 清　五段（大和田）

第２ラウンド

小嶋 英基　七段（長房）・徳満 英世　六段（恩方）・吉田 信夫　六段（台町）・中谷 勝信　四段（川口）

第３ラウンド

望月 毅　五段（中野）・森本 康男　四段（中野）・庄司 則幸　五段（元八）　・藤原 幹治　７級（教室）

第４ラウンド

坂内 秀三　六段（浅川）・梶原 和夫　五段（浅川）・岩田 大平　六段（浅川）・竹内 朝晴　六段（恩方）

第１９回　棋聖大賞囲碁大会の結果

棋聖大賞囲碁大会が、１月２１日（日）に技術顧問、指導員、特別任務委嘱者、地区同好会会長ほか１名、七段以上の会員、八碁連理事が参加して開催されました。

結果は下表の通りです。

参加者（４２名）	優　　勝	準　優　勝	第　３　位
A組（六段以上）２２名	小川淨二 八段/南大沢	井上栄次郎 七段/中野	矢島幾朗 七段/南大沢
B組（六段以下）２０名	木河専　三段/石川	池田正三 六段/大和田	佐藤義廣 六段/北野

対戦開始（４２名による予選リーグ風景）

予選を勝ち抜き（決勝トーナメント風景）

投　稿

粗忽者と囲碁

大和田囲碁同好会　副会長　成田 滋

山本周五郎の作品に「粗忽評判記」というのがあります。山本は好んで江戸時代に材をとり、市井の人々の悲喜や武士の哀歓を描きます。庶民の側に立つという徹底した文筆態度です。権威ある者を風刺するような描き方をするのもあります。「粗忽評判記」もそうです。「小説というのは読後感が爽やかでなければならぬ」という信念を持って書いたといわれます。

主人公は苅田久之進という粗忽者です。粗忽とは、そそっかしい、おっちょこちょいということ。久之進の主君三浦壱岐守明敬も彼に劣らぬ粗忽な人です。壱岐守は、性急な質で忘れっぽく耳が早いという粗忽者の典型です。他方、久之進は落ち着き払って粗忽なことをやるので目だつこともこの上ないのです。

ある時、この二人が競走馬のことで馬と技の優劣を論じ合っています。壱岐守は次第に旗色が悪くなるので大いにせき、「では囲碁で勝敗を決めよう」と提案します。「いかにも承知でござる」久之進はにやにや笑いながら立っていきます。間もなく将棋盤を持ってきて据えます。肝心の物を間違えています。当人も気がつかないし壱岐守はもとより大いにせきこんでいるので、すぐに駒箱を明けながら「許す、先手で参れ」と云うのです。

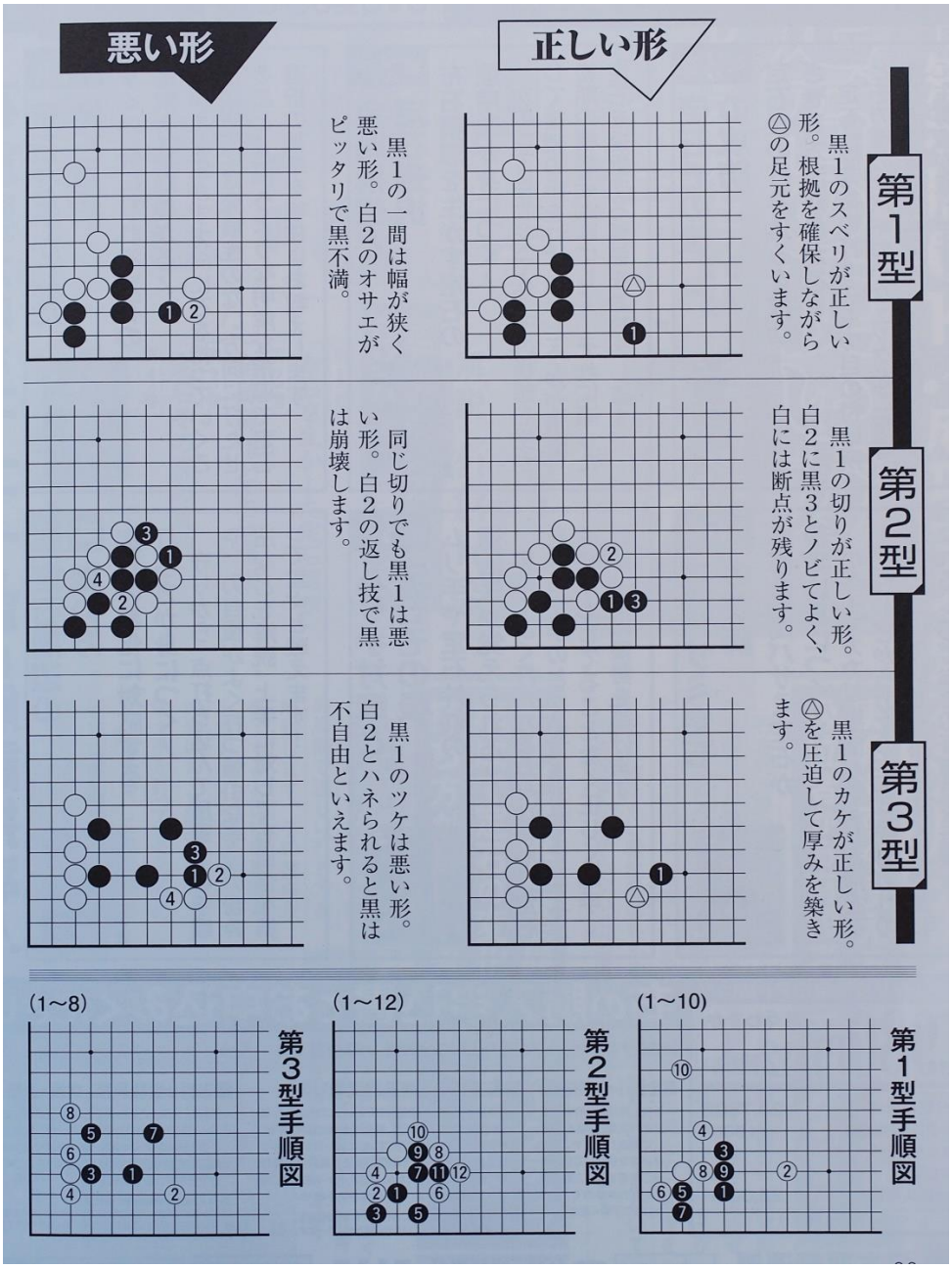
「それはなりません。先手は下手なほうがとるもの。お上と拙者とでは段が違います」「余の命令じゃ、先手で参れ！」「御意なればやむを得ません、では、、」久之進はしぶしぶ駒箱の中へ手をいれます。

ここで久之進は気がつくかと思うのですがそうではありません。指先で駒を弄りながらはてなと考えだします。碁は打つもの、将棋は並べて指すものです。駒と石とが違うのですから摘んではみますが、具合の変なのは当たり前です。壱岐守も駒を捻っていましたが、久之進の様子をみて、こいつまた何かそそっかしいことをしたなと思います。粗忽人の癖としてこうなると「失策だ」という考えだけで突き当たって他の事は忘れてしまうのです。しばらく駒を弄りまわしていましたが、ついに壱岐守がとって付けたように笑いだします。「どうだ久之進、え――どうだ、あははは、参ったか！」何がどうなのか分かりません。ところが久之進のほうもまたひどく恐縮した様子で、「いやどうも、まことにどうも」「あっははは、どうだ久之進、どうだ、どうだ、あっははは」

しきりにどうだ、どうだと云って笑っているのです。久之進も笑い出します。二人でしばらくけらけら笑っていましたが、やがて碁のことには一言もふれず、揃って庭のほうへ出た行ったところをみると、両方とも何を間違えて可笑しくなったのか分からずじまいらしかったのです。

白い梅の花
花言葉は「気品」

級位者のための　**悪い形・正しい形**　　囲碁研究１２月号より



編集後記　　今月は皆さんよりたくさんの原稿を頂き嬉しい悲鳴で編集させて頂きました。
お陰様で今月号は８ページとなりました。楽しい記事ばかりです、隅から隅まで読んで下さい。
　特に最後の「粗忽者と囲碁」の原稿をパソコンに打ち込んでいる時、途中であまりにもの面白さで笑いこけてパソコンのＫｅｙ（キー）を打つ手が止まってしまいました。新春の大きな初笑いを頂き、今年は一年中笑いと共に過ごせそうです。今後も皆さんの投稿をお待ちしています。
　最後に大変寒い日々が続いています、風邪など健康に注意してお過ごし下さい。